

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-2 公正で効率的な行政運営を行う

(所管課名 税務理財部検査室)

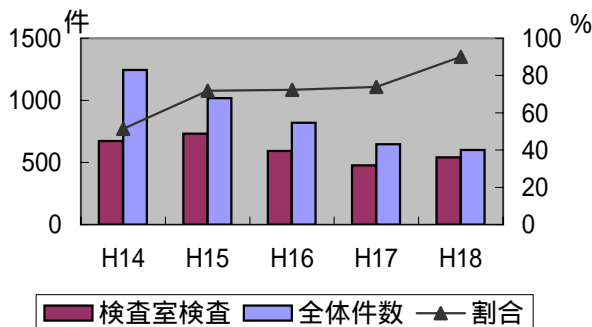
任務 発注した工事契約の適正な履行確認を行う

任務の成果・活動指標の推移

検査室実施検査の割合

	検査室検査	全体検査	割合
H14実績	673件	1245件	51.40%
H15実績	731	1018	71.8
H16実績	594	820	72.4
H17実績	478	647	73.9
H18目標	540	600	90.0

工事検査の実施状況(件数・割合)



指標の説明

市長部局及び上下水道局発注工事(土木工事50万円以上、建築工事100万円以上、設備工事100万円以上)の総件数に対する検査室(平成16年度までは、水道局検査監による検査を含む)にて実施した検査件数の割合を掲げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

市長部局及び上下水道局の工事発注件数は、平成14年度以降年々減少傾向にあるが、平成17年度から水道局と下水道部が組織統合されたことに伴い、検査部門も同じく統合され、検査職員の減員となったものの、500万円未満の工事の抽出検査を増やすなどして、総検査件数に対する検査室検査の割合を若干上げることができた。

平成18年度

平成18年度は、上下水道局工事のうち500万円未満の工事を、ほぼ全数抽出検査とすることにより、総検査件数に対する検査室検査件数の割合を大きく上げられる予定である。

平成17年度は、上下水道局工事(500万円未満の工事)のうち、年度当初は300万円以上、年度途中から200万円以上の工事を抽出検査とした。

これからの課題、施策等展開の方向性

市長部局、上下水道局の年間工事検査のうち、年度末(3月)に完成検査、債務負担工事及び翌年度繰越工事の既済部分検査が集中(約40%)し、やむなく担当課検査となっているため、検査時期の平準化を考慮した工事発注及び検査期間を確保する工期設定を、工事担当課に強く要請していかなければならない。